

# 景気の動き

## 四 国（四経連「景気動向調査」結果）

項目	3月判断	前回（2025年12月判断）
調査結果の概要	四国の景気は、総じて持ち直しの動きがみられる。	同左
経営者の景況感	明るさが続いている	明るさが戻っている
生産	持ち直しの動きに足踏みが続いている	同左
輸出	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの兆しがみられる
在庫	「過剰」・「やや過剰」とする割合がやや上昇している	同左
企業業績	引き続き良好に推移している	同左
設備投資	堅調に推移している	同左
雇用	引き続き良好な状況となっている	同左
個人消費	全体として回復が続いている	同左

〔四国経済連合会 2026年3月26日発表〕

## 全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	3月月例	2月月例	
基調判断	景気は、緩やかに回復しているが中東情勢の影響を注視する必要がある。 <small>（先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。）</small>	景気は、米国の通商政策の影響が残るものの、緩やかに回復している。	
個人消費	持ち直しの動きがみられる	同左	
設備投資	緩やかに持ち直している	同左	
住宅建設	弱含んでいる	同左	
公共投資	底堅く推移している	同左	
輸出入	輸出	おおむね横ばいとなっている	同左
	輸入	おおむね横ばいとなっている	同左
	貿易・サービス収支	おおむね均衡している	同左
生産	横ばいとなっている	同左	
企業	収益	米国の通商政策の影響が残るものの、改善の動きがみられる	同左
	業況判断	おおむね横ばいとなっている	同左
	倒産件数	増加がみられる	同左
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左	
物 価	国内企業物価	緩やかに上昇している	同左
	消費者物価	このところ緩やかに上昇している	このところ上昇テンポが緩やかになっている

〔内閣府 2026年3月27日発表〕